

科目名単位数		絵画		(4)単位	学習レベル	標準
<p>学習目標</p> <p>いろいろな表現様式による絵画表現を通して、表現と鑑賞の能力を高める。</p>						
学期	学習内容		学習のねらい		提出物	
前期 (4月～9月)	5月	<p>アクリル画 各自でテーマを選定して制作する。 静物・人物・風景・構想画等</p>	<p>アクリル画の幅広い表現方法、絵の具の特性を理解する。 主体的で個性的な表現力を培う。</p>		作品	
	5月 6月	<p>水彩画 生花を水彩紙にスケッチして描く。 生花や器物をポストカード(水彩用)にスケッチして絵手紙を描く。</p>	<p>水彩絵の具の特性を活かして多様な表現方法を試みる。 親しみやすい画材を通して表現の喜びを味わう。</p>		作品	
	7月 9月	<p>混合材料による絵画(ミクストメディア) 自分の日常生活の記録を作品化する。</p>	<p>新しい表現材料を組み合わせた複合的表現を理解する。 複数の表現形式を構成する能力を高める。</p>		<p>作品 アイデアスケッチ</p>	
後期 (10月～3月)	10月 11月	<p>手作りのキャンバスに描く 自分に合ったキャンバスを手づくりして、地塗りも工夫する。 いろいろなモチーフから1点を選び描写する。</p>	<p>既成のキャンバスサイズにとらわれず自由な形を考える。 地塗りやマチエルは材料に幅広く工夫できることを理解する。</p>		作品	
	12月 1月	<p>抽象表現 具体的な形ではなく線そのもの、色彩そのもの等で構成した作品を制作する。</p>	<p>現実の世界を再現するのではなく絵を構成している点、、線、面色彩動勢と言った要素でつくられていることを理解する。</p>		作品	
	1月 2月	<p>まんが 1コマ～4コマ、まんがの制作 世界情勢、社会現象、身近な話題をもとに発想する。</p>	<p>見る人を引きつける表現内容を発想する能力を培う。 まんがは時間経過、人間愛、自然愛など豊かな感情や技術が必要なことを理解する。</p>		<p>作品 演習プリント</p>	
	3月	<p>年間のまとめと鑑賞</p>	<p>作品の講評、鑑賞を通して表現の大切さ喜びを知る。</p>			
<p>評価の観点と方法</p> <p>① 美術への関心、意欲、態度、鑑賞の能力 ② 発想や構想の能力 ③ 創造的な能力</p> <p>方法:実技課題の成績点、アイデアスケッチ等の提出物、学習態度、出席状況を総合的に評価する。</p>						
使用教科書・副読本					実習費	3,000 円
<p>教材・道具等</p> <p>絵の具類(アクリル・水彩・ジェッソ・他)、絵画用具、キャンバス、絵画用具、各種紙類</p>						